

みずほCustomer Desk Report 2017/04/14 号 (As of 2017/04/13)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.90	1.0670	116.17	1.0021	1.2550	0.7537
SYD-NY High	109.39	1.0677	116.44	1.0067	1.2575	0.7595
SYD-NY Low	108.73	1.0609	115.72	1.0009	1.2501	0.7525
NY 5:00 PM	109.08	1.0612	115.75	1.0057	1.2501	0.7568
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.46/12.06		Δ25RR	2.545	Yen Call Over	

NY DOW	20,453.25	▲ 138.61	債券市場	日本2年債	-0.2110	0.2bp
NASDAQ	5,805.15	▲ 31.01		日本10年債	0.0310	0.2bp
S&P	2,328.95	▲ 15.98		米国2年債	1.2053	0.4bp
日経平均	18,426.84	▲ 125.77		米国5年債	1.7691	0.2bp
TOPIX	1,468.31	▲ 11.23		米国10年債	2.2374	▲ 0.2bp
シカゴ日経先物	18,405	▲ 115.00		独10年債	0.1870	▲ 1.1bp
ロンドンFT	7,327.59	▲ 21.40		英10年債	1.0430	▲ 0.7bp
DAX	12,109.00	▲ 45.70		豪10年債	2.4740	▲ 2.9bp
ハンセン指数	24,261.66	▲ 51.84	為替市況	USD/CNH	6.8852	0.0013
上海総合	3,275.96	2.13		ドルインデックス	100.56	▲ 0.22
USDJPY 3M Vol	10.13	▲ 0.05%	商品市況	CRB指数	187.769	0.39
USDJPY 6M Vol	9.82	▲ 0.10%		NY金	1,288.50	10.40
EURJPY 3M Vol	13.36	0.06%		WTI	53.18	0.07
EURJPY 6M Vol	11.85	0.12%		Dubai Spot	54.17	▲ 0.86

東京	東京時間オープン前に発表された本邦対外証券投資で、今月2～8日における中長期債の売越額が2兆1,768億円と2015年3月以来となる規模での売越超となったものの、相場への影響は限定的。斯かる中、東京時間のドル円は108.90レベルでオープン。前日海外時間に報じられたトランプ大統領の発言が意識される中、上値の重い展開が継続。安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大し、米10年債利回りが2.22%台前半まで下落する中、意識されていた200日移動平均線の水準(108.76)を下回り、安値108.73をつける。北朝鮮北東部の核実験場で活発な活動が確認されていると報じられたことも相場の重石となった。午後に入っても108.80-90近辺を中心にレンジ推移が継続。但し、引けにかけては日経平均株価が下げ幅を縮小させ、米10年債利回りも2.24%台まで回復する中、本邦輸入勢のドル買いも意識され、ドル円は119円台を回復。東京時間高値109.14をつけた後、109.08レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.08レベルでオープン。イースター休暇を控えて薄商いのなか、このところの地政学リスク・トランプ大統領発言などによる円高進行がひと段落という声も出て小康状態。109円ちょうどを挟んで小動きとなり、109.18レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0668レベルでオープン、仏大統領選挙を巡り、現在第4位のマロン・ショ候補の支持率が上昇しつつあり、先行きに不透明感が広がりユーロの展開、1.0624レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 寛)
ニューヨーク	海外市場のドル円は安値108.73をつけたが、その後反発し109.18レベルでNYオープン。朝方の米3月PPI(前月比)は予想を下回ったが、市場の反応は限定的。米株式市場オープン前に発表された米大手銀の2017第1四半期決算が予想を上回ったことや、その後発表されたミシガン大学消費者マインド指数(速報値)が予想を上回るとドル円は一時高値の109.39まで上昇。しかし、午後に入り「米軍がISを狙いアフガニスタンに通常兵器で最強の特殊爆弾を落とした」との報道が伝わると米長期金利、米株が下落する展開にドル円も連れ安となり108.96まで下落。108円台ではドル買い意欲も高く、109円台にすぐ値を戻したが、シリア、北朝鮮に続きアフガニスタンでも地政学的リスクが高まる中、その後も109.15付近で上値の重い推移が続き、109.08レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.0624レベルでNYオープン。地政学的リスクの高まりを背景にユーロ円が下落したことから、ユーロドルもじり安の推移となり1.0609まで下落。しかしイースター休暇を控え積極的に下値を試す展開とはならず、1.0612レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤(貴)・坂本

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
4月13日	08:50	対内・対外証券投資	-	-
	10:30	雇用者数変化/失業率	3月 60.9K/5.9%	20.0K/5.9%
	12:06	貿易収支	3月 \$23.93B	\$12.50B
	12:06	輸出/輸入(前年比)	3月 16.4%/20.3%	4.3%/15.5%
	15:00	CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.2%/1.6%	0.2%/1.6%
	15:00	EU基準CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.1%/1.5%	0.1%/1.5%
	21:30	PPI最終需要(前月比/前年比)	3月 -0.1%/2.3%	0.0%/2.4%
	21:30	新規失業保険申請件数	- 234K	245K
	22:45	ブルームバーグ消費者信頼感	- 51.0	-
	23:00	ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 98.0	96.5

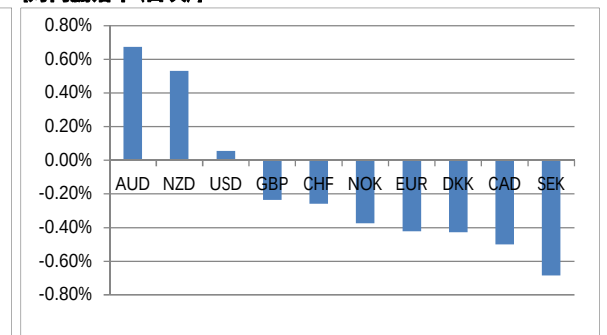
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
4月14日	13:30	鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	2月 -/-	2.0%/4.8%
	13:30	設備稼働率(前月比)	2月 -	0.1%
	21:30	CPI(前月比/前年比)	3月 0.0%/2.6%	0.1%/2.7%
	21:30	コアCPI(前月比/前年比)	3月 0.2%/2.3%	0.2%/2.2%
	21:30	小売売上高(前月比)	3月 -0.2%	0.1%
-	-	イースター休暇	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-109.50	1.0580-1.0680	115.00-117.00

[マーケットインプレッション]

昨日海外時間のドル円相場は上昇の後下落。東京時間、108円台後半で上値重く推移したドル円相場は、米金利の持ち直しや市場予想を上回る米失業保険申請件数やミシガン大消費者信頼感指数を受けて、米国時間午前までは109円台前半で底堅く推移。その後、米国政府がISに対する攻撃としてアフガニスタンに強力な爆弾を投下との報道が流れると、地政学リスクを背景としたリスクセンチメントの悪化から、ドル円は再び109円割れを試す展開に。本日のドル円相場も引き続き軟調推移を予想する。北朝鮮やシリア、アフガニスタンに関連する地政学リスクが引き続き警戒され、ヘッドライン等により緊張感が高まる場面では金利低下並びにドル円相場下落での反応が予想される。一方で、アジア及び欧州各国は本日からイースター休暇となっており、積極的な値動きも控えられそうだ。